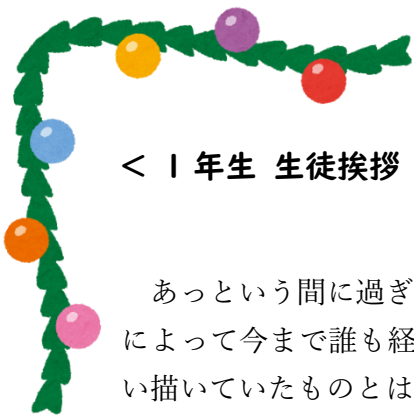




< 1 年生 生徒挨拶 >

あっという間に過ぎ去っていった 2020 年。1 つのウイルスの、大きく恐ろしい力によって今まで誰も経験もしたことのない混乱が世界中を襲いました。自分達がい描いていたものとは違い、異例のスタートとなった学校生活。沢山の行事、そして時間が奪われていきました。

先の見えないウイルスの感染拡大によってどんなこともネガティブに考えてしまいがちだった日々を送っているとき、音楽会の開催が決まり練習が始まりました。

例年とは違い 1 クラスごとの合唱や学年ごとの発表になり、練習時間が限られていました。しかし今年の音楽会は私達にとって例年より大切になる機会であり、たくさんの方の事を学び、吸収できる場だったと思います。

クラスごとの合唱では、それぞれのクラスで曲から決め、練習を重ねました。始めは本当に 1 つの「曲」としてまとまるのかという不安を抱えながらの練習でした。私は音楽会行事委員、そして伴奏者としてまとめようという責任感を持ちながら練習を進めていく中で、クラスをまとめることの大切さを改めて実感することができました。

学年よりも小さな規模だからこそ 1 人 1 人の意識が大切だと思います。練習が始まってすぐは 42 人それぞれが違う方向を向いていましたが、先生が歌う時のポイントを教えてくださったり、練習を重ねていくにつれ、皆が同じ方向を向き、「曲」が成り立っていきました。そして他のクラスの発表を聴き、自分たちの発表を終えた今、私は音楽の偉大さや素晴らしさに気付くことができました。

今年は沢山のものが制限され、その一方で新しい生活様式が定着してきています。しかし音楽はこれまでの生活と同じように世界中の人々を笑顔にさせています。人間にとって音楽は大切であり、失ってはいけない存在であることは変わりません。私は、だからこそ今まで当たり前のように過ごしていた日々は当たり前ではなく幸せだったと感じました。

1 日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収まり元通りの生活が送れるよう、私たちの生活を支えてくださっている方々に感謝をし、一人一人の意識を高めて、小さなことから努力をしていきたいと思います。

